

付則22

国内トライアルの仕様

MFJ TRIAL

1 クラス区分

排気量によるクラス区分は特にない。

2 出場車両

- 2-1 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの（※）。
※トライアルにおける公認車両とは「MFJ公認車両リスト（355頁～）」に掲載されたフレーム打刻とエンジン打刻が合致している車両のことを指す。
- 2-2 年式に関わらず、フレーム打刻・エンジン打刻の合致しているものは同一車両とみなす。
- 2-3 車両は国内競技規則及び付則21トライアル基本仕様に示されているすべての条件に適合していること。

3 マシン仕様

以下に明記されているアイテムについては、MFJが公認車両として公認した状態でなければならぬ。

- 3-1 エンジンの型式
- 3-2 シリンダーの数
- 3-3 ピストンストローク
- 3-4 クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鋳造、および形状
- 3-5 吸排気系のバルブ数、ポート数、キャブ数
- 3-6 リヤホイールスピンドルの材質
- 3-7 フロントホイールスピンドルの材質
- 3-8 フレーム
- 3-9 ホイールの構造
- ※一般市販されているホイールとの交換は可能とするが構造は変更できない（タイヤのチューブ付き、チューブレスの交換は構造変更の対象外とみなす）。

4 タイヤ

「トライアル基本仕様3-13トライアルタイヤ」（289頁）の記載事項を遵守すること。

5 各部の仕上げ調整

全ての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること（メタル合わせ、タペットクライアンス、点火時期等）。

仕上げとは各部品の規準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう（ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、燃料室みがき等）。

その他フロントフォークオイル、ミッションオイル類は変更できる。

6 本規則の施行

本規則は2016年1月1日より施行する。